

平成 29 年度
瑞浪市教育委員会
点検評価報告書
(平成 28 年度事業)

平成 29 年 9 月
瑞浪市教育委員会

目 次



1	点検評価の概要	1
	はじめに	1
	点検評価の区分	1
2	教育委員会の活動状況	2
3	平成 29 年度（平成 28 年度事業） 評価一覧	7
4	各課の事業評価	9
	教育総務課	9
	学校統合推進室	12
	学校教育課	15
	学校給食センター	25
	社会教育課	28
	スポーツ文化課（文化振興）	39
	〃 （スポーツ推進）	55
5	教育委員会点検評価委員会のまとめ	59

1 点検評価の概要

【はじめに】

平成 19 年 6 月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないことが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条及び瑞浪市教育委員会点検評価実施要領の規定に基づき、瑞浪市教育委員会が平成 28 年度の教育委員会事務事業の点検及び評価を行い、瑞浪市教育委員会点検評価委員会の意見を付して報告するものです。

【参考】

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

【点検評価の区分】

点検評価は、教育委員会の事務事業の執行状況について、実績や成果と課題を記述し、次に示す 4 区分により達成度の評価を行いました。

- A・・・順調に達成している
- B・・・おおむね順調に達成している
- C・・・達成見込みであるが課題がある
- D・・・順調でない

2 教育委員会の活動状況

平成 28 年 10 月 1 日から瑞浪市教育委員会は「新教育委員会制度」に移行し、新たな体制での船出をしました。

新教育委員会制度とは、平成 27 年 4 月 1 日に施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により定められたもので、今回の移行により、教育委員会の代表者であり会議の主宰者である教育委員長と事務局の指揮監督者である教育長を一本化し、新教育長（任期 3 年）が会務を総理し、教育委員会の代表となりました。

本年度の教育委員会は、定例会を 12 回、臨時会を 2 回開催し、議案 69 件について厳正な審議を行いました。定例会・臨時会後に開催される委員会協議会では、委員からの情報提供や、事務局からの事業の進捗や関連事項の報告について、活発な意見交換が行われました。

主な活動状況として、教育関係のイベントや式典、東濃西部教育委員研修協議会（11 月 14 日）などに参加しました。また、研究発表校に指定された瑞浪小学校、釜戸中学校をはじめとする学校の訪問を行い、学校教育の現状を確認しました。管外研修については、情報通信技術（ICT）を活用した学校教育について先進的な取り組みを行っている岐阜市を視察しました。

中学校統合に関しては、瑞浪南中学校の開校式（4 月 7 日）に出席したほか、瑞浪市北部地域中学校統合準備委員会に参加し、進捗状況や委員の意向を把握し、教育委員会として提言を行いました。

教育功労者表彰（11 月 7 日）については、瑞浪市教育委員会表彰規則に基づき、教育・学術及び文化の振興発展に貢献のあった教育関係職員 1 人、児童・生徒 4 人、学校 1 校、一般 1 人の表彰を行いました。

なお、教育委員会で審議された案件は次ページのとおりです。

【教育委員会名簿】

平成 29 年 3 月 31 日現在

職 名	氏 名	任期満了日	備 考
教育長	ひらばやし みちひろ 平 林 道博	平成 31 年 9 月 30 日	
委 員	ごしま ひさとし 五 嶋 久年	平成 30 年 9 月 30 日	教育長職務代理者
委 員	やまだ ゆきお 山 田 幸男	平成 31 年 9 月 30 日	
委 員	しばた ようこ 柴 田 洋子	平成 32 年 9 月 30 日	
委 員	かとう ひろゆき 加 藤 博之	平成 29 年 9 月 30 日	

【平成 28 年度教育委員会審議案件等一覧】

回	議案番号	件 名	開催年月日
5	承第 1 号	専決処分の承認について（瑞浪市民体育館の設置及び管理に関する条例施行規則等の一部を改正する規則の制定について）	平成 28 年 4 月 28 日
	議第 2 0 号	瑞浪市学校給食センター運営委員の委嘱について	
	議第 2 1 号	瑞浪市社会教育委員の委嘱について	
	議第 2 2 号	瑞浪市図書館協議会委員の委嘱について	
	議第 2 3 号	瑞浪市生涯学習推進委員の委嘱について	
	議第 2 4 号	瑞浪市化石博物館協議会委員の任命について	
	議第 2 5 号	瑞浪市市之瀬廣太記念美術館協議会委員の任命について	
	議第 2 6 号	瑞浪市櫻堂薬師調査指導委員の委嘱について	
	議第 2 7 号	平成 28 年度学校評議員の委嘱について	
	議第 2 8 号	瑞浪市スクールバス運行管理規程の制定について	
	議第 2 9 号	瑞浪市クラブバス運行管理規程の制定について	
6	議第 3 0 号	瑞浪市教育委員会点検評価委員の委嘱について	平成 28 年 5 月 26 日
	議第 3 1 号	平成 28 年度瑞浪市教育費にかかる 6 月補正予算（第 1 号）について	
	議第 3 2 号	平成 28 年度教科用図書東濃採択地区協議会の設置について	
7	---	議案なし	平成 28 年 6 月 23 日
8	承第 2 号	専決処分の承認について（専第 2 号 瑞浪市陶磁資料館の特別に休館する日について）	平成 28 年 7 月 21 日
	議第 3 3 号	平成 29 年度使用小・中学校用教科用図書採択について	
	議第 3 4 号	瑞浪市指定文化財の指定について	

回	議案番号	件名	開催年月日
9	議第35号	平成28年度瑞浪市教育委員会点検評価報告書（平成27年度事業）について	平成28年8月9日
	議第36号	指定管理者の指定について（大湫公民館）	
	議第37号	平成28年度瑞浪市教育費にかかる9月補正予算（第3号）について	
10	承第3号	専決処分の承認について（専第3号 瑞浪市高等学校野球全国大会出場補助金交付要綱の制定について）	平成28年9月29日
	議第38号	平成28年度瑞浪市教育功労者の選定について	
11	---	議案なし （教育長職務代理者の指定、委員の議席順の決定）	平成28年10月3日 （臨時会）
12	議第39号	瑞浪市小学校及び中学校の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	平成28年10月27日
	議第40号	瑞浪市指定文化財の指定について	
	報第1号	（仮称）瑞浪北中学校の統合の進捗状況について	
13	議第41号	平成28年度瑞浪市教育費にかかる12月補正予算（第6号）について	平成28年11月14日
	議第42号	瑞浪市奨学金について	
	議第43号	指定管理者の指定について	
	議第44号	瑞浪市陶磁資料館の特別に休館する日について	
	議第45号	瑞浪市日吉スポーツ施設整備事業について	
	報第2号	平成29年度瑞浪市教育費にかかる主要事業について	
	報第3号	平成28年度全国学力・学習状況調査の分析について	
14	議第46号	瑞浪市教育長の給与その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	平成28年12月22日 （次ページにつづく）
	議第47号	瑞浪市陶磁資料館の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	
	議第48号	瑞浪市化石博物館の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	
	議第49号	瑞浪市教育振興基本計画推進委員会規則の制定について	
	議第50号	瑞浪市教育委員会点検評価委員会規則の制定について	

回	議案番号	件 名	開催年月日
14	議第 5 1 号	瑞浪市教育委員会点検評価実施要領の一部を改正する教育委員会訓令の制定について	(前ページからのつづき) 平成 28 年 12 月 22 日
	議第 5 2 号	瑞浪市加知奨学基金選考会議規則の制定について	
	議第 5 3 号	瑞浪市加知奨学基金条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	
	議第 5 4 号	瑞浪市立中学校統合準備委員会規則の制定について	
	議第 5 5 号	瑞浪市学区制審議会設置規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について	
	議第 5 6 号	瑞浪市教育支援委員会設置規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について	
	議第 5 7 号	瑞浪市社会教育委員規則の制定について	
	議第 5 8 号	瑞浪市図書館協議会規則の制定について	
	議第 5 9 号	瑞浪市化石博物館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について	
	議第 6 0 号	瑞浪市市之瀬廣太記念美術館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について	
	議第 6 1 号	瑞浪市立中学校統合準備委員会設置要綱及び瑞浪市教育振興基本計画策定委員会設置要綱を廃止する教育委員会告示の制定について	
	議第 6 2 号	瑞浪市教育委員会点検評価実施要領細則を廃止する教育委員会訓令の制定について	
	議第 6 3 号	平成 2 8 年度末瑞浪市教職員定期人事異動方針について	
1	議第 1 号	瑞浪市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について	平成 29 年 1 月 26 日
2	議第 2 号	平成 2 8 年度瑞浪市教育費にかかる 3 月補正予算(第 8 号)について	平成 29 年 2 月 17 日 (次ページにつづく)
	議第 3 号	平成 2 9 年度の瑞浪市の教育の方針と重点について	
	議第 4 号	平成 2 9 年度瑞浪市教育費にかかる予算について	
	議第 5 号	瑞浪市中央公民館の特別に開館する日について	
	議第 6 号	瑞浪市民図書館の特別に開館する日及び特別に休館する日について	

回	議案番号	件 名	開催年月日
2	議第 7 号	瑞浪市化石博物館の特別に開館する日について	(前ページからのつづき) 平成 29 年 2 月 17 日
	議第 8 号	瑞浪市市之瀬廣太記念美術館の特別に開館する日について	
	議第 9 号	瑞浪市陶磁資料館の特別に開館する日について	
	議第 10 号	瑞浪市地球回廊の特別に開館する日について	
	議第 11 号	瑞浪市民体育館の特別に開館する日について	
	議第 12 号	瑞浪市日吉スポーツ施設の特別に開館する日について	
	議第 13 号	瑞浪市都市公園有料公園施設の特別に供用する日について	
3	議第 14 号	人事異動の概要及び異動について	平成 29 年 3 月 7 日 (臨時会)
4	議第 15 号	瑞浪市文化財審議会委員の委嘱について	平成 29 年 3 月 23 日
	議第 16 号	瑞浪市指定文化財の指定について	
	議第 17 号	瑞浪市いじめ問題調査委員会規則の制定について	
	議第 18 号	瑞浪市陶磁資料館専門委員設置要綱の一部を改正する教育委員会告示の制定について	
	議第 19 号	瑞浪市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について	
	議第 20 号	瑞浪市キャリア教育推進懇談会要綱の制定について	
	議第 21 号	瑞浪市生涯学習推進委員会設置要綱の廃止について	
	議第 22 号	瑞浪市生涯学習推進懇談会要綱の制定について	
	議第 23 号	瑞浪市美術展運営懇談会要綱の制定について	
	議第 24 号	瑞浪市櫻堂薬師調査指導懇談会要綱の制定について	
	議第 25 号	瑞浪北中学校ゼロエネルギー化検討委員会設置要綱を廃止する教育委員会告示の制定について	

※提案された案件については、全て可決又は承認されました。

3 平成 29 年度（平成 28 年度事業）評価一覧

連番	担当課	新規事業	整理 No.	事業名	評価	ページ
1	教育総務課		1	奨学金給付事業	A	9
2			2	小学校児童用机椅子購入事業	A	10
3			3	小学校非構造部材耐震補強事業(繰越)	A	11
4	学校統合推進室		1	学校統合推進事業	A	12
5		○	2	スクールバス運行管理経費	A	13
6			3	(仮称)瑞浪北中学校施設整備事業	A	14
7	学校教育課		1	ALT派遣事業	A	15
8			2	教育研修経費	A	16
9			3	小学校課題指定校経費	A	17
10			4	中学校課題指定校経費	A	18
11			5	教育支援センター運営経費	A	19
12			6	児童生徒学業支援員派遣事業	B	20
13			7	キャリア教育推進事業	A	21
14			8	幼稚園課題指定園経費	A	22
15			9	教育みずなみ発行経費	A	23
16			10	教育研究所運営経費	A	24
17	学校給食センター		1	学校給食調理等委託事業	B	25
18			2	学校給食配送委託事業	A	26
19			3	学校給食施設等整備事業	A	27
20	社会教育課		1	瑞浪市主張大会開催事業	A	28
21			2	生涯学習推進事業	A	30
22			3	青少年育成推進事業	A	31
23			4	成人式開催経費	A	32
24			5	中央公民館講座等開催経費	B	33
25			6	中央公民館文化祭開催経費	B	34
26			7	美術展開催事業	B	35
27			8	文化芸術振興経費	A	36
28			9	中央公民館自主事業	A	37
29			10	中央公民館市民参加型事業	A	38

連番	担当課	新規事業	整理No.	事業名	評価	ページ
30	スポーツ文化課		1	文化財調査保存事業	A	39
31			2	埋蔵文化財発掘等調査事業	A	40
32			3	保存資料等刊行事業	A	41
33			4	こいのぼり祭事業	A	42
34		○	5	文化財維持管理事業	A	43
35			6	(化石博物館)定期研究報告発行事業	A	44
36			7	(化石博物館)定期講座開催経費	A	45
37			8	化石博物館定期展示会開催事業	A	46
38			9	(化石博物館)化石資料調査収集事業	A	47
39			10	(市之瀬廣太記念美術館)定期展示会開催事業	A	48
40			11	(市之瀬廣太記念美術館)彫刻講座等開催経費	C	49
41			12	(陶磁資料館)作陶講座開催経費	A	50
42			13	(陶磁資料館)定期展示会開催事業	A	51
43			14	(陶磁資料館)定期刊行物発行経費	A	52
44			15	(陶磁資料館)展示資料等購入整理事業	A	53
45			16	陶磁資料館展示室改修事業	A	54
46			17	スポーツ教室等開催経費	B	55
47			18	トップアスリート交流事業	A	56
48		○	19	全国レクリエーション大会開催事業	A	57
49		○	20	市営野球場改修事業	A	58
50		○	21	日吉スポーツ施設整備事業	A	58
	合 計	5				

<評価区分>

A	順調に達成している
B	おおむね順調に達成している
C	達成見込みであるが課題がある
D	順調でない

4 各課の事業評価

◇教育総務課の事業評価

方針	教育委員会の円滑な運営と学校環境等の整備・充実□
重点	Ⅰ 教育委員会の円滑な運営 Ⅱ 安心・安全を確保するための施設等の整備 Ⅲ 教育委員会事務事業の推進

方針と重点 の重点番号	Ⅲ	整理 番号	1	事業名	奨学金給付事業	評価	A
【事業の概要】 進学の意欲と能力を有しながら、経済的理由により修学が困難な者に対して、修学に必要な資金を支給します。 ●瑞浪市奨学金：高校生を対象。月額1万円。10名以内／年を選考。 ●加知奨学金：大学生を対象。入学金20万円、月額3万円。10名以内／年を選考。 債権管理マニュアルを基に、旧制度の未返済者への対応を継続的に実施します。							
【事業の実績】 ●瑞浪市奨学金：応募者12名の内10名を選考。過年度選考者を含め、合計20名に支給。 ●加知奨学金：応募者35名の内10名を選考。過年度選考者を含め、合計32名に支給。 ●制度の見直し：市奨学金の定員、選定基準について教育委員会にて審議しました。（審議結果：変更なし） ●貸付事業：債権徴収マニュアルに基づき債権管理に努め、一定の成果をあげました。 ●制度の周知についての取り組み： ①広報みずなみへの掲載（7/15、11/15、2/15）②チラシの配布：市立中学校全生徒（7月・11月・2月）保護者への配布（7月→3年生、11月→2年生）③チラシ、ポスターの送付（11月→東濃管内の全私立中学校・高校、2月→東濃管内の全高校・大学・私立中学校他）							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 前年度は広報に力を入れたことで、応募人数が増加したことから、引き続きこまめに制度周知を行いました。							
【事業の成果と課題】 案内チラシの配布やポスター掲示をこまめに行うなど、制度の周知に力を入れ、特に加知奨学金への応募は前年度の28名から大幅に増加するという成果がありました。奨学生や保護者からは「奨学金のおかげで薬剤師の国家資格を取得できた。学びを社会で還元したい」「開発・研究を通じて社会に貢献したい」「将来地元で医療機関の仕事に従事するため取り組んでいる」「いつか瑞浪市に恩返しができるよう心づもりしておくように常に話している」などの声をいただいております。「教育の機会均等を確保し、将来社会に貢献できる優秀な人材を育成する」という制度の目的に適った事業実施ができました。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	15,962,000			15,344,700		96.2%	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	2	事業名	小学校児童用机椅子購入事業	評価	A
【事業の概要】 平成 24 年度からの継続事業（計画配備） 市内全小学校 7 校の児童の新入学生分の机・椅子を J I S 規格に更新します。							
【事業の実績】 市内各小学校 7 校の次年度新 1 年生の机・椅子を購入しました。 瑞浪小：131 組、土岐小：73 組、陶小：16 組、稲津小：39 組、明世小：28 組 釜戸小：21 組、日吉小：13 組 ・ ・ ・ 合計：321 組							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 計画的に机・椅子の更新を行っているので、引き続き実施しました。							
【事業の成果と課題】 机面の寸法が広がったことで多様な教材に対応できるようになり、学習環境の向上が図られました。机と椅子の両方とも高さ調整をスムーズに行うことができるため、体格の変化や学習の進め方に応じて柔軟な対応がとれるようになりました。また、児童が卒業するまでの長期間にわたり自分の備品を管理することを学ぶ機会を提供できました。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	6,567,000			5,994,000		91.3%	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	3	事業名	小学校非構造部材耐震補強事業 (繰越)	評価	A
【事業の概要】 瑞浪小学校屋内運動場の非構造部材耐震補強工事 平成 26 年度：調査・実施設計 平成 27 年度：工事契約・前金払い 平成 28 年度：工事施工・完成							
【事業の実績】 平成 26 年度からの継続事業である瑞浪小学校屋内運動場の非構造部材耐震補強工事が完了しました。 ●契 約 日：平成 28 年 3 月 14 日 ●契約期間：平成 28 年 3 月 14 日～平成 28 年 11 月 30 日 ●請負業者：板垣建設(株)瑞浪支店 ●請負金額：43,640,640 円(当初契約額 34,560,000 円+9/23 変更契約による増額 9,080,640 円)※請負金額の内、非構造部材耐震補強工事分は、36,846,360 円(H27 前払金 13,800,000 円+H28 支払分 23,046,360 円)							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 前年度は学校行事の予定から適正工期が取れなかったため、平成 28 年度に繰り越しました。工期が長いため、学校及び学校開放による利用団体とのスケジュール調整を綿密に行う必要がありましたが、適切に実施できました。							
【事業の成果と課題】 平成 26 年度からの継続事業であった瑞浪小学校屋内運動場の非構造部材耐震補強工事を無事完了することができました。天井解体後の詳細調査により、工法等の変更が必要となりましたが、契約変更を行い、児童が安全・安心して活動を行える環境を整備することができました。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	23,200,000			23,046,360		99.4%	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

◇学校統合推進室の事業評価

方針	健全な教育環境の整備
重点	I 中学校の統合再編の推進

方針と重点 の重点番号	I	整理 番号	1	事業名	学校統合推進事業	評価	A
【事業の概要】 統合に必要な課題協議のため、北部地域統合準備委員会及び専門部会を開催します。また、校歌作曲業務委託・生徒間交流事業等を実施します。							
【事業の実績】 ・北部地域統合準備委員会（3回）及び専門部会（18回）を開催し課題の協議を行いました。 【主な決定事項】 制服・ジャージ等の指定物品 開校時の部活動 スクールバス運行計画 ・統合準備委員会ニュースを発行し、協議・決定内容について情報提供を行いました。 ・瑞浪南中学校の開校式（4月7日）を開催しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 専門部会の開催を増やし課題協議を進めたことで、スムーズかつ前倒しでの課題解消が進みました。引き続き、前倒しでの協議を進めていきます。							
【事業の成果と課題】 瑞浪南中学校開校式が盛大に開催され、統合校として良いスタートを切ることができました。 南部地域統合準備委員会による課題協議により、開校後、円滑な学校運営が進んでいます。 北部地域統合準備委員会は専門部会の開催を増やし課題協議を進めました。開校に向け遅延のないよう前倒しして協議を進めていきます。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	787,000			658,381		83.7	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	I	整理 番号	2	事業名	スクールバス運行管理経費	評価	A
【事業の概要】 平成28年4月に開校する瑞浪南中学校のスクールバス及びクラブバスの運行管理を行います。							
【事業の実績】 ・学校行事等に合わせ柔軟にスクールバスの運行をすることができました。 ・適正なバス運行、翌年度以降の運行計画を検討するため、スクールバス運営委員会を設立しました。 ・クラブ関係者との調整により、クラブ活動支援バスの運行を行いました。 【スクールバス運行業務】 契約先：平和コーポレーション株式会社 契約期間：平成28年4月1日～平成33年3月31日 契約金額：67,031,360円（平成28年度支払い分：13,210,560円） 【クラブバス運行業務】 契約先：株式会社ポルテ 契約期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日 契約金額：2,587,572円							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 新規事業							
【事業の成果と課題】 スクールバスを計画どおり運行することができました。生徒・保護者からの意見・苦情等はありません。引き続き、学校と運行業者との調整を行っていきます。 夏季休暇中の運行は、効率的な部活動計画に基づき計画をする必要があります。 クラブ活動支援バスは、今年度の実績に基づき見直しを行う必要があります。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	16,742,000			15,798,132		94.4	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	I	整理 番号	3	事業名	(仮称) 瑞浪北中学校施設整備 事業	評価	A
【事業の概要】 平成31年4月開校予定の瑞浪北中学校の土地造成工事及び校舎・屋体建築工事を実施します。							
【事業の実績】 ・敷地造成工事に着手。順調に進捗しています。 ・昨年度策定の校舎・屋体建築基本設計に続き、実施設計を進めました。							
【土地造成工事】 契約先 : 市川・今井特定建設工事共同企業体 契約期間 : 平成28年3月4日～平成29年9月30日 契約金額 : 473,040,000円							
【校舎・屋内運動場建築設計業務】 契約先 : 株式会社日建設計 名古屋オフィス 契約期間 : 平成27年4月16日～平成29年2月28日 契約金額 : 164,259,360円 (うち繰越分 62,719,920円)							
【物件補償費】 対象物件 : 1件 補償額 : 30,118,046円							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 関係部署との調整により、計画どおり事業が進捗しています。引き続き、綿密な打合せを行いながら事業を進めます。							
【事業の成果と課題】 平成31年度の開校に向けた施設整備が計画どおり進捗しています。 建築に係る補助金（スーパーエコスクール実証事業・サステイナブル建築物先導事業・内装木質化）について、調査・打ち合わせを進めました。 来年度の建築工事発注に向け、担当部署とスケジュール調整等を行いました。 開校年度に遅延のないよう関係部署と調整をしていきます。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	541,076,000			528,564,679		97.7	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

◇学校教育課の事業評価

方 針	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進
重 点	I 確かな学力の育成 II 幼稚園・学校の教職員の資質向上 III 子どもの心と生活の安定を目指す生徒指導の推進 IV 一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実 V 幼保一体化による就学前教育の充実 VI 中学校の統合準備

方針と重点 の重点番号	I	整 理 番 号	1	事業名	A L T 派遣事業	評価	A
【事業の概要】 ・外国人英語指導助手（JET プログラム 1 名・業者委託 2 名）が幼小中を訪問し、英語教育、外国語活動、英語活動、国際理解教育を進めます。							
【事業の実績】 ・幼小中への計画的な訪問指導を実施することができました。また、小学校 5・6 年生には、「小学校外国語活動」の時間すべてに訪問することができました。 ・「Hi, friends 1、2」を活用した授業を行うことができました。 ・のべ訪問日数 579 日。研究所勤務を含めると 630 日。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・平成 28 年度より、業者との契約方法などを見直し、プロポーザルにより派遣業者を選定し、より質の高い A L T による指導が行えるようにしました。							
【事業の成果と課題】 ・幼稚園では A L T の派遣により国際理解教育を進めることができました。 ・小学校 5・6 年生においては、「外国語活動」の時間すべてに A L T が訪問し、より効果的な活動が行えました。子どもたちは外国語に親しみ、コミュニケーション活動を充実させることができました。また、小学校低・中学年では「ゆとりの時間」や「総合的な学習の時間」に計画的に A L T が訪問し、国際理解を深めることができました。 ・中学校に A L T が入ることにより、学んだ英語を生かす場が確実に増え、自己の高まりを実感できることにつながっています。また、ネイティブスピーカーの英語に多く触れることは、英語習得の過程で多くの気づきや理解の場をつくることにつながっています。 ・児童生徒によりよい話し手としてのモデルを示したり、外国の文化を伝えたりするなど、抵抗感を解消し、英語学習への意欲を高めることができています。 ・平成 28 年度より、業者との契約方法などを見直し、プロポーザルにより派遣業者を選定したため、各園・学校が主体性を発揮した A L T の活用や、より質の高い A L T による指導が行えました。 ・外国語活動・英語教育に係る研修を充実させたり、校種間の交流を進めたりし、外国語活動・英語教育の教職員の指導力をさらに高めていく必要があります。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	15,136,000			14,635,698		96.7	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	2	事業名	教育研修経費	評価	A
【事業の概要】 ・教職員の資質向上のための研修会を実施します。 ・小中学校の授業研究会に外部専門講師を招聘します。							
【事業の実績】 ・夏季研修会については、5日間のべ350名が受講しました。 ・ICT活用(18名)、特別支援教育(77名)、外国語活動(6名)、英語教育(6名)、幼児教育(46名)、作陶体験(42名)、瑞浪市歴史探訪(9名)、実践論文(8名)、学級経営(4名)、個人情報保護(54名)、国語教育(8名)、算数・数学教育(12名)、小学校理科観察・実験(13名)、学校教育・授業のあり方(25名)、防災講座(13名)、救急救命(9名) 合計20講座を実施しました。 ・各学校の校内研究会に外部講師を招聘し、活動や授業の充実に努めました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・多方面にわたる教職員の資質向上が求められており、さらに多様な研修を計画・実施しました。							
【事業の成果と課題】 ・前年度より1日多く講座を開催し、講座の数も4つ増やすことで、教職員のニーズにより応じた研修を実施することができ、資質の向上を図ることができました。 ・学校からの要望が強い特別支援教育にかかわる講座を2つ開講しました。専門的な知識をもつ講師から様々な事例をもとに、それぞれの障がいの特徴と必要となる支援等について学ぶことができました。 ・多方面にわたる教職員の資質向上が求められており、さらに多様な研修を計画・実施する必要性を感じます。 ・各園・学校における研修会では、各園・学校の研修課題に応じた研修を充実させることができました。 ・他市から赴任している教師に対して、作陶や瑞浪市の歴史探訪講座を受講してもらい、瑞浪市のよさを他地域に広めることに貢献できました。 ・外国語活動・英語教育に係る研修を充実させたり、校種間の交流を進めたりし、外国語活動・英語教育の教職員の指導力をさらに高めていく必要があります。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	450,000			303,120		67.4	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	3	事業名	小学校課題指定校経費	評価	A
【事業の概要】 ・ 3年サイクルで研究校を指定し、教育活動を支援します。 ・ 指定校は課題を策定・研究し3年目に研究発表会を実施します。 ・ 指定1、2年目の予算措置はありません。							
【事業の実績】 ・ 10月28日 瑞浪小学校研究発表会 研究主題 「問い続ける子～教科の楽しさを味わい、確かな学力を身に付ける授業の創造～」 ・ 14学級公開授業 ・ 市内外教職員等参加者…予定参加者数：120人⇒実参加者数：160人 ・ 「教科の楽しさ」を味わいながら学ぶ意義を求め、学校の研究テーマで願う児童の姿を具現することができました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・ 本事業を行うことで、発表校の教職員の力量向上とともに、児童の学習する力の向上につながるので、継続しました。							
【事業の成果と課題】 ・ 瑞浪小学校で研究発表会を実施し、教職員の力量を高めました。 ・ 子どもの確かな実態把握をもとにした指導の手立てを追究し、確かな教科の力を育てる授業のあり方等を他校の教職員が参考にできる発表となりました。 ・ 発表校の教職員の力量向上とともに児童の学習する力の向上につながり、継続していくことが重要です。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	315,000			307,469		97.6	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	4	事業名	中学校課題指定校経費	評価	A
【事業の概要】 ・3年サイクルで研究校を指定し、教育活動を支援します。 ・指定校は課題を策定・研究し3年目に研究発表会を実施します。 ・指定1、2年目の予算措置はありません。							
【事業の実績】 ・10月20日 釜戸中学校研究発表会 研究主題 「自分の考えを表現する生徒～基礎学力を定着させ、考えを交流・活用し、学びのある教科指導のあり方～」 ・7教科7学級授業公開 ・市内外教職員等参加者…予定参加者数100人：⇒実参加者数：144人 ・基礎学力を確実に定着させるための手立てを明確にし、学校の研究テーマで願う生徒の姿を具現することができました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・本事業を行うことで、発表校の教職員の力量向上とともに、児童の学習する力の向上につながるので、継続しました。							
【事業の成果と課題】 ・釜戸中学校で研究発表会を実施し、教職員の力量を高めました。 ・子ども一人一人のより確かに実態把握し明らかにした指導により、生徒が自分の考えを表現しようと生き生きと学ぶ姿があり、他校の教職員が参考にできる発表となりました。 ・発表校の教員の力量向上とともに生徒の学習意欲の向上につながり、継続していくことが重要です。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	320,000			239,677		74.9%	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅲ	整理 番号	5	事業名	教育支援センター運営経費	評価	A
【事業の概要】 ・不登校児童生徒の学校復帰を目指して、指導員2名（嘱託職員）により適応指導を行います。 ・平成28年度3月現在、不登校による30日以上欠席した小学生は9名、中学生は34名、合計43名いました。（平成27年度は42名） ・通級する児童生徒に対しては、指導員が実態に応じて学習や生活の個別指導を行い、対人関係を学んだり、学習の遅れを取り戻したりしながら、学校復帰を目指します。							
【事業の実績】 ・不登校によりなかなか学校へ行けない児童生徒に対し、学校と連携して該当児童生徒や保護者へ働きかけ、4名の中学生が通級できるようになりました。また、室長が学校を訪問し、情報を共有して対応することで、通級への意欲を見せたり、見学したりした児童生徒が5名いました。適応指導教室では、個の実態に応じて学習や運動に取り組み、徐々に遅れを取り戻しています。 ・電話連絡、家庭訪問等の粘り強い支援によって、行事に参加できたり、放課後に登校したり、相談室で生活できるようになった児童生徒もいます。 ・教育相談活動については、平成28年度末で総数175件（昨年度165件）の相談を行いました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・室長と教育委員会職員が学校訪問をしたり、学校職員が教育支援センターを訪問したりして、不登校児童生徒に関わる情報を共有しながら支援を行うようにしました。							
【事業の成果と課題】 ・適応指導教室に通う児童生徒の学校復帰を目指す指導ができました。 ・こぶし教室運営委員会の開催、通信の発行、各小中学校訪問を通して、学校との連携を図り、情報の共有化及び各ケースの実情に応じた支援を行いました。 ・教育相談活動を通して、小中学校の児童生徒及び保護者との信頼関係を築くことにより、個々に応じた支援をすることができました。 ・家庭状況、保護者の価値観、多様な学びの場の選択等により、適応指導教室への入級や学校復帰への見通しがもてない児童生徒がいるため、より多くの児童生徒の学校復帰に向けて引き続き努力する必要があります。 ・平成29年度は、適応指導教室室長による学校訪問や保護者面談をしながら適応指導教室への通級を勧める活動を行います。また、実態に応じて、スクールカウンセラーやスクール相談員、スクールソーシャルワーカーと連携した支援も進めていきます。							
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）		執行率（％）		
	7,670,000		7,376,249		96.2%		

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅳ	整 理 番 号	6	事業名	児童生徒学業支援員派遣事業	評価	B
【事業の概要】 ・小中学校において、学級担任の補助として、特別な支援を必要とする児童生徒（発達障がい、学習障がい等のある児童生徒、日本語の理解が難しい外国籍児童生徒）へ個別支援を行う人員を配置します。 ・学校図書館の整備及び児童生徒への読書指導等の支援を行う人員を配置します。							
【事業の実績】 ・小学校 7 校へ 17 名、中学校 5 校へ 6 名、図書支援員として 2 名、合計 25 名を派遣しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・夏季研修会（特別支援教育、図書館経営）へ参加することにより、支援員の一層の資質向上を図るようにしました。							
【事業の成果と課題】 ・学校の実態を踏まえて 25 名の学業支援員を派遣できた。各校で時間割を工夫する等して、限られた支援員を有効活用することができました。また、学業支援員の派遣により、子どもの困り感に寄り添ったきめ細かい支援が可能となり、安定した生活姿勢、学習に対する意欲の喚起、積極的な読書活動につながりました。 ・特別な支援を必要とする児童生徒、外国人の急な転入などは増加しており、多様なニーズに応じた支援員の配置を行っていく必要があります。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	27,880,000			24,310,370		87.2%	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	7	事業名	キャリア教育推進事業	評価	A
【事業の概要】 ・ 中学 2 年生の職場体験学習の充実に向けて支援します。 （推進委員会の実施・賠償保険料の支払）							
【事業の実績】 ・ 市内中学校 5 校の 2 年生 3 1 1 名が、のべ 1 4 4 事業所で職場体験学習を行い、望ましい勤労観・職業観の育成を図ることができました。 ・ 職場体験学習が円滑に実施できるようキャリア教育推進委員会を実施し、関係団体の会長等との懇談を充実させることができました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・ 学校と事業所との打ち合わせをより綿密に行うようにしました（事故なく安全に、生徒の希望に応じた職場体験内容）。							
【事業の成果と課題】 ・ 市内中学 2 年生全員が事故なく職場体験学習を行い、望ましい勤労観・職業観の育成を図ることができました。 ・ 生徒の希望に応じられるよう協力していただいた事業所が多く、温かい支援により生徒の満足感も大きかったです。 ・ 推進委員会については、地域ぐるみのキャリア教育を推進していくため、引き続き実施していく必要があります。 ・ 学校と事業所との打ち合わせをより綿密にする必要があります。 ・ 体験活動だけでなく、キャリア教育の目的をより明確にした指導が大切です。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	154,000			151,540		98.4％	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	V	整理 番号	8	事業名	幼児園課題指定園経費	評価	A
【事業の概要】 ・2年サイクルで研究園を指定し、教育活動を支援します。 ・指定園は課題を策定・研究し2年目に研究発表会を実施します。 ・29・30年度は「みどり幼児園」を指定します。 ・1年目は予算措置はありません。							
【事業の実績】 ・10月25日 稲津幼児園研究発表会 研究主題 「仲間と一緒に遊ぶ中で自分の意思を伝えられる子をめざして～言葉の発達を促す遊びの環境構成や保育者の意図的な指導・援助のあり方～」 ・5学級公開 ・市内外教職員等参加者…予定参加者数100人⇒実参加者数：106人 ・子どもの実態を確かに捉え、園の研究テーマで願う子どもの姿を具現することができました。 ・教育長訪問、園内研修会等で研究推進全般や教職員の指導力の向上に向けての指導、助言を行いました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・指定園発表会に向けて、焦点化した研究を推進しました。							
【事業の成果と課題】 ・研究会等での指導、助言により、教職員の指導力の向上と確かな教育推進につなげることができました。 ・稲津幼児園で研究発表会を実施し、教職員の力量を高めました。 ・研究を焦点化し、子ども一人一人のより確かに実態把握し明らかにした指導により、子どもの生き生きとした姿があり、他園の教職員が参考にできる発表となりました。							
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）		執行率（％）		
	151,000		149,526		99.1%		

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	9	事業名	教育みずなみ発行経費	評価	A
【事業の概要】 ・教育研究所機関誌「教育みずなみ」（月刊誌）を発行します。 ・分析授業の「授業記録」を発行します。							
【事業の実績】 教育研究所機関誌「教育みずなみ」（月刊誌）の発行 ・No.6 3－1～1 2を発行しました。 ・分析授業の「授業記録」の発行 ・分析授業の詳細な授業記録を残すことができました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・年々変わる教育課題に対応できるよう、掲載内容を一部変更し、教員の資質向上の一助としました。							
【事業の成果と課題】 教育研究所機関誌「教育みずなみ」（月刊誌） ・年度末のアンケートから、「教育みずなみ」の掲載記事（分析授業や学力向上等）が「参考になった」という教職員は94％と、よい反応がありました。 ・幼小中の特色ある取組、学力向上に係る取組等、具体的な実践を紹介できました。 ・年々変わる教育課題に対応できるよう、掲載内容を一部変更し、教員の資質向上の一助とします。本年度は、学校教育の外部を含む幅広い立場の方（市民図書館、特別支援学校、大学等）から寄稿いただき参考になりました。 分析授業の「授業記録」 ・研究所主催の分析授業を市内教員に知らせるため、授業記録を発行した。詳細な授業記録をもとに、授業の分析を進めることで、関係教諭の指導力の向上につながりました。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	753,000			631,189		83.9%	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	10	事業名	教育研究所運営経費	評価	A
【事業の概要】 ・各学校の代表である嘱託所員、学校所員とともに所員会、分析授業等を通して授業研究を行います。 ・各教職員の研究成果をまとめた論文を審査・表彰し「教育実践研究論文集」に集録する等、教員の研究活動を奨励・援助し教育レベルの向上を図ります。							
【事業の実績】 ・教育実践論文を募集、審査、表彰し入賞作品を「教育実践研究論文集」に集録した。58人（57点）の応募がありました。 ・分析授業を冊子「授業記録」にまとめ、嘱託所員、学校所員とともに1年をかけて詳細に分析しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 ・配付数を少なくするなど経費削減の努力をしました。							
【事業の成果と課題】 ・実践論文の応募が、合計57点あった。応募率は27％にのぼり、実践論文の作成により、教職員の資質向上に大変つながっています。 ・優秀論文を「教育実践研究論文集」にまとめ、市内教員に配付することで効果的な教育実践のあり方を広めています。 ・配付数を少なくするなど経費削減の努力をしました。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	577,000			430,912		74.7％	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

◇学校給食センターの事業評価

方 針	安全で、栄養バランスのとれた、おいしい給食の提供
重 点	I 衛生管理の徹底 II 給食の安定的な供給 III 施設・設備の整備 IV 安心で、美味しい給食の提供 V 食に関する指導の充実

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	1	事業名	学校給食調理等委託事業	評価	B
【事業の概要】 小・中学校 12 校の学校給食約 3,100 食の調理・食器洗浄業務等を民間業者に委託し、安心安全な給食を提供します。							
【事業の実績】 契 約 先：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 契約期間：平成 26 年 11 月 28 日から平成 30 年 3 月 31 日 履行期間：平成 27 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日 (契約日から平成 27 年 3 月 31 日までは準備期間) 対象施設数：小学校 7 校、中学校 5 校 1 学期 69 日・2 学期 77 日・3 学期 52 日 計 198 日 569,021 食の給食を提供しました。 警報発令による休校のため、給食が中止となった日が 2 日ありました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 受託者へ適正な人員の確保を依頼しました。 衛生面の周知のため、気づいた点は栄養教諭からその都度責任者や朝礼時に話をしました。							
【事業の成果と課題】 美味しい給食を時間までに提供することはできましたが、少人数で業務を行うこともあり、配缶や検収の誤りがあったため、受託者へ適正な人員の確保を依頼していく必要があります。もう少し厳しく指示、指導をしていく必要がありました。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	56,986,000			56,985,120		100.0	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	2	事業名	学校給食配送委託事業	評価	A
【事業の概要】 学校給食を市内の小・中学校に限られた時間内に確実に・安全に配送するため、配送業務を専門業者に委託します。							
【事業の実績】 契 約 先：東海西濃運輸株式会社 岐阜東濃支店 契約期間：平成28年4月1日から平成34年3月31日 配送施設数：小学校7校、中学校5校 1学期69日・2学期77日・3学期52日 計198日の給食を配送しました。 配送車両：4台							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 指示や連絡を緊密に行い確実な配送ができるように努めました。							
【事業の成果と課題】 市内の小・中学校へ給食の配送を、給食時間までに確実に実施することができました。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	21,384,000			21,384,000		100.0	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅲ	整理 番号	3	事業名	学校給食施設等整備事業	評価	A
【事業の概要】 高温多湿な洗浄室並びにコンテナプール室に空調設備を増設します。							
【事業の実績】 平成27年度に設計業務委託を実施、9月議会に補正予算（継続費）を計上し、2月に契約を行いました。空調機器は受注生産のため27年度中に発注する必要がありました。 工事契約先：大東株式会社 契約期間：平成28年2月1日から平成28年9月30日 契 約 額：当初 83,160千円 平成27年度支払分33,260千円 平成28年度支払分49,900千円 補強等の追加工事が必要となり、8月2日に変更契約を行いました。 変更後 86,005千円（2,845千円の増）							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 毎週定例の工事打ち合わせ後に、業務受託者等の関係者に必要事項の連絡を行い、通常業務や工事がスムーズに行えるよう努めました。							
【事業の成果と課題】 夏休み期間中に、空調設備を増設することができ、2学期から洗浄室等の環境は改善されました。 電気代や保守管理等の施設管理経費が増加するため、適切な温度管理が必要になります。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	52,745,000			52,744,720		100.0	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

◇社会教育課の事業評価

方針①	ともに学び、成長し、高めあえる社会教育の充実
重 点	I 多様な世代に対応した生涯学習の内容の充実 II 地域での子育てに係る学習環境の整備 III 高齢者の活躍の場づくり IV 公民館・図書館等による人材発掘と育成

方針②	郷土愛を育む文化・芸術の振興
重 点	I 市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実 II 後継者育成、文化芸術活動団体の支援

方針③	子どもの成長支援のための幼児園・学校、家庭、地域の連携
重 点	I 連携による家庭の教育力の向上 II 連携による地域の教育力の向上

方針と重点 の重点番号	①II	整理 番号	1	事業名	瑞浪市主張大会開催事業	評価	A
【事業の概要】 本事業は、少年の主張岐阜県大会瑞浪市予選を兼ね、青少年育成事業にとどまらず市民の生涯学習事業としても開催します。市内の各小・中・高等学校の代表（各校1名）、及び一般応募者が開催要項に定められた課題に沿って発表し、審査により賞を授けられます。							
【事業の実績】 6月19日（日）に総合文化センター文化ホールにて本事業を開催しました。発表者は小学生7名、中学生6名、高校生3名であり、一般の部の発表はありませんでした。 入場者は約500名であり、盛況のうちに終了することができました。 また、発表音声をCD化し、関係者に配布しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 関係団体や高等学校との連携をより確立するため、前年度に好評を得た「青少年育成推進員による運営協力」と「市内の高等学校3校の生徒による司会進行」を継続して行いました。また、一般市民の参加や来場を増やすために前年度から始めた「MJCみずなみ児童合唱団」をアトラクション団体として招き、ちらしやメール等でPRしました。							

【事業の成果と課題】

本事業は青少年育成市民会議との共催事業として開催していますが、平成 28 年度の特徴は、運営方法を市内 3 校の高校生ボランティア（各校 2 名ずつ計 6 名）と青少年育成推進員を中心に行ったことが挙げられます。

特に、高校生の司会による爽やかで軽快な進行や瑞浪高校書道部による大会横断幕は、来場者に好評でした。高校からは、事前に積極的なアプローチがあり、協力体制の定着が認められます。

一方、来場者は発表者の応援が主であったため、一般来場者の増加策を講ずるとともに、各種団体に働きかけて一般の部への発表者の確保に努めます。

決算の状況	予算額（円）	決算額（円）	執行率（％）
	181,000	162,121	89.6

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	①Ⅰ ①Ⅳ	整理 番号	2	事業名	生涯学習推進事業	評価	A
【事業の概要】 生涯学習推進委員会並びに市民部会及び行政部会を開催し、生涯学習推進施策の調査・研究・検討などを行います。また、市民への生涯学習啓発を目的としたガイドブックの作成を行います。さらに、瑞浪市の自然・歴史・文化・産業等に関する様々なテーマにより「生涯楽習講座」を市民楽習部会と協力して開催します。							
【事業の実績】 生涯学習推進委員会を5月24日（火）と2月16日（木）の2回開催しました。 市民による自主的な学習活動の一環である生涯学習市民楽習部会については、①きょうから始める生前整理、②コミュニティバスで行くふるさと再発見、③瑞浪学習、の3グループに分かれて活動を行いました。他に部会として4回開催し、各グループの学習内容について情報交流を行いました。 特に、①のグループでは、生涯楽習シリーズ講座として「きょうから始める生前整理」をテーマに4講座（参加者数延べ80人）を開催し、これらの集大成として「あったかハートの生前整理フェア」（来場者250人）を開催しました。 また、生涯学習推進委員会に対し昨年度及び今年度の活動内容を報告しました。 他には昨年度に引き続き、市内で開催される講座等の情報を取りまとめた「生涯楽習ガイドブック」を全戸配布し、学びの場に関する情報提供を行いました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 人生の終焉を視野に入れた活動である「終活」を前年度のテーマとしたことを受け、いかに充実した人生を過ごすかという「生前整理」を今年度のテーマとしました。人生を自ら「整理整頓」することで生涯学習の過程を再確認し、あわせて今後の人生を充実させるための考え方や方法を学ぶ講座を開催しました。							
【事業の成果と課題】 生涯学習市民楽習部会におけるグループごとの学習活動について、これまでの活動のまとめとして冊子「瑞浪の神社を巡る」を作成し、関係者及びコミュニティーセンターに配布しました。また、「生涯楽習ガイドブック」では、市内における講座等の情報を一覧にして市民に広く周知することができ、情報提供の手段として効果が高かったと言えます。 平成29年度からは生涯学習推進委員会が懇談会と位置付けられたことから、事業内容を見直すとともに、公民館事業との統合を視野に整理する必要性があると思われます。							
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）		執行率（％）		
	879,000		759,645		86.5		

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	①Ⅱ ③Ⅱ	整理 番号	3	事業名	青少年育成推進事業	評価	A
【事業の概要】 青少年育成市民会議事業を中心として青少年健全育成活動を推進します。 市民会議への交付金（モデル地区・団体への活動交付金を含む）、青少年育成推進員の報酬、及び市子ども会連合会事業と青年の船研修に対する補助金が主要経費です。							
【事業の実績】 青少年育成市民会議を2回（5月・2月）、青少年育成推進員会（構成員10名）を7回開催しました。市民会議では、モデル地区（稲津地区）とモデル団体の活動発表及び優良青少年団体等の顕彰を行いました。また、市民会議のイベントとして11月に開催した「フレッシュトーク in 瑞浪」では、テーマを「18歳選挙権について考える」とし、高校生28人、大人40人が参加し積極的な意見交換を行うことができました。他には、市民会議の部会活動として、夏季特別街頭巡回指導、環境整備活動、中学生も多く参加した駅前の環境整備作業「無ガム中大作戦」、講演会等の事業を実施しました。 また、PTA連合会と連携し、携帯・インターネット問題に対して「家庭におけるルール作り」を行う活動を推進するとともに、新たな取組として各町民会議間の活動交流を行うことができました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 前年度に始めた「無ガム中大作戦」は、多くの中学生の参加を得て継続開催し、環境美化意識を高めることができました。							
【事業の成果と課題】 「無ガム中大作戦」では、中学生の参加者が前年度比5倍の40名と増加し、「フレッシュトーク in 瑞浪」も28名の高校生から活発な意見交換がありました。 課題としては、市民会議の部会員の多くが充て職であるために、継続的な取り組みが困難なことや、青少年育成推進員の負担が大きいことが恒常的になっていることです。							
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）		執行率（％）		
	2,339,000		2,276,911		97.4		

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	①Ⅱ	整理 番号	4	事業名	成人式開催経費	評価	A
【事業の概要】 本事業は、長年受け継がれてきた「成人の火の伝達」等を継承しながら、成人としての自覚を促すことと、将来に向けて激励することを目的とします。新成人からなる実行委員会を中心にして、地域の方々の協力による「手づくりの成人式」を開催します。							
【事業の実績】 市内全ての中学校卒業の新成人から公募（各校2名程度：17名）した「成人式実行委員会」が自ら企画・実行する「手づくりの成人式」として開催しました。 式典では、厳かな雰囲気の中、テーマである「→Me（ミー）」に沿って、「大人としての自覚」、「家族・仲間・恩師・地域に対する感謝」を表す構成としました。 実行委員の作詞作曲による歌や寸劇など心のこもった演出で館内すべての人が感動した成人式となりました。 ○成人対象者：475名、出席者：406名、出席率：85.5% ○第17回成人式大賞貢献賞を受賞							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 伝統となっている「成人の火の伝達」を受け継ぎつつ、「郷土」、「自覚」、「感謝」を表現できるよう実行委員全員でアイデアを出し合いました。							
【事業の成果と課題】 実行委員全員の積極的な取り組みによって、「手づくりの成人式」を作り上げ、市内外から高い評価を得ることができました。 成人式大賞では、10年連続して受賞し、一昨年は「成人式大賞」を受賞、以降連続して「成人式貢献賞」を受賞しました。 記念品には、郷土の良さを再発見してもらえるよう「みずなみ焼」のマグカップを選定しました。 今後は、青年層の人口減少（流出）による実行委員の選出が課題となっていますので、その確保に向けた取組みが必要となっています。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	1,921,000			1,654,061		86.1	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	①ⅠⅡ ⅢⅣ ③Ⅰ	整 理 番 号	5	事業名	中央公民館講座等開催経費	評価	B
【事業の概要】 市民のライフスタイルや生活技術の向上、多様な学習意欲の向上に適した講座・教室等を開催する。また、高齢者学級である寿大学や、家庭教育の充実を目的とする母親学級等を開催します。							
【事業の実績】 定期講座・体験教室等で次の 10 事業を実施しました。 (講座参加人数：210 人 (前年度比 47 人増)) ○はじめての陶芸体験 5 月 7 日：参加 17 人〔定員 15 人〕 ○はじめての茶席体験 5 月 7 日：参加 7 人〔定員 15 人〕 ○集まれ！子ども和太鼓教室 5 月～8 月 (全 11 回)：参加 11 人〔定員 15 人〕 ○ナイトアドベンチャー 文化センターの秘宝を探せ！8 月 14 日：参加 14 人〔定員 10 人〕 ○美文字教室①～更に自分を高めよう～ 8 月～10 月 (全 5 回)：参加 17 人〔定員 15 人〕 ○親子ヨガ ～心を繋いで心を笑顔に～ 9 月～10 月 (全 4 回)：参加 14 人〔定員 20 人〕 ○デジタルカメラ講座 ～もうこわくないデジタルカメラ～ 10 月～11 月 (全 3 回)：参加 6 人〔定員 10 人〕 ○見て、さわって、のってみよう ～はたらくじどう車くらべ～ 11 月 13 日：参加 102 人〔定員 20 人〕 ○美文字教室② 2 月～3 月 (全 5 回)：参加 10 人〔定員 10 人〕 ○魚のさばき方教室 3 月 (全 2 回)：参加 12 人〔定員 10 人〕 高齢者学級として中部寿大学 (学生 182 人) の運営 毎月学習会等開催、文集発行 登録自主グループ 28 団体、延べ会員数 278 人 自主ぐる～ぶ展 3 月 10 日～12 日 7 団体 ひまわり婦人学級 登録者数 24 人 常盤婦人学級 登録者数 25 人 家庭教育学級 (三園母親学級) 参加者数 35 人							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 前年度に申込みの多かった講座で、子ども向けの講座や美文字教室の開催数を増やしました。また、生涯学習へとつながるよう、デジタルカメラや魚のさばき方など初心者向けの講座を開催しました。							
【事業の成果と課題】 少しでも多くの市民に参加してもらえるよう、時間的負担の少ない短期講座を多く企画し、子どもを含め、幅広い世代が参加できる講座を開催することができました。また、学んだことについて発表・展示する場を設け、学ぶことの楽しさや達成感を実感してもらうことができ、事業効果を高めることができました。 課題としては、指導者不足等を原因とする日程調整の難しさや、子育て世代等の若年層の参加者が増えない点等が挙げられます。 今後は、近隣市等の情報収集に努め、課題解決に努めたいと考えます。							
決算の状況	予算額 (円)		決算額 (円)		執行率 (%)		
	702,000		524,996		74.8		

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	①Ⅲ ③Ⅱ	整理 番号	6	事業名	中央公民館文化祭開催経費	評価	B
【事業の概要】 公民館講座等の参加者や登録自主グループの生涯学習成果を発表する機会を提供し、また、市内の文化芸術団体の活性化を図るため、第35回中央公民館文化祭を開催します。 なお、市内各種団体の協力により、市民文化祭としての位置付けも持たせます。 ○開催日：11月12日（土）、13日（日）							
【事業の実績】 平成28年11月12日と13日に瑞浪・土岐・明世地区の公民館活動推進員の協力を得て開催しました。 芸能発表については26団体、作品展示については19団体2個人が参加しました。 また、市民図書館においては「読み聞かせ」を館内で行ったほか、市内幼児園児の作品を展示しました。 他に、テントイベントとして「もぐもぐぱくぱく まんぷく広場」を有志団体並びに瑞浪・土岐・明世地区の活動推進員が出店を担当し、賑わいを見せました。 さらに、瑞浪市消防団音楽分団と中央公民館講座である「子ども和太鼓教室」の受講生が各日のオープニングイベントとして演奏を行い、文化祭を盛り上げることができました。 ○全体参加者数678人、展示点数772点、入場者数1,346人。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 オープニングに消防団音楽分団や公民館講座受講生を起用し、また昨年度に引き続き幼児園児の作品展示を行うことで、市内の生涯学習に関連する活動の発表機会の充実を図りました。							
【事業の成果と課題】 幅広い世代の方に参加していただき、世代間の文化交流を図ることができました。 また、子どもを対象とした講座である「見て、さわって、のってみよう～はたらくじどう車くらべ～」を同時開催したことで、子どもとその保護者を入場者に取り込むことができました。 課題としては、出演者、展示点数が減少傾向にあることに加え、回覧用チラシの折り込み時期が遅れ、市民への周知期間が不足したことを挙げるができます。 今後は、周知方法の検討に加え、参加者数が増加するような公民館講座を開催するとともに、同時期に開催される市美術展との調整を図り、出品点数の確保を図ります。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	320,000			226,137		70.7	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	②Ⅰ ②Ⅱ	整 理 番 号	7	事業名	美術展開催事業	評価	B
【事業の概要】 第 63 回瑞浪市美術展（一般の部）を公募展として開催します。 日本画、洋画、書、彫塑、デザイン・イラストレーション、陶芸、工芸、写真の 8 部門で開催します。							
【事業の実績】 第 63 回瑞浪市美術展（一般の部）を、平成 28 年 10 月 26 日（水）～10 月 30 日（日）の 5 日間で開催しました。また、昨年度に引き続き、21 世紀を担う若者の豊かな才能を育てるため、高校生を対象とした「ききょう賞」を設けました。 ○出品数 245 点（うち賛助・無鑑査等 42 点）、入賞 47 点、展示作品数 233 点。 入場者数 1,017 人。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 昨年度に引き続き、市内外の高校の美術部や書道部等に対し、高校生を対象とした「ききょう賞」について周知を行い、出品を促しました。							
【事業の成果と課題】 出品数は 245 点で前年度から 6 点（2.39%）の減少となりました。 昨年度に引き続き、市内外の高校の美術部や書道部等に対し、「ききょう賞」を周知し出品を促しましたが、学校行事との兼ね合いから高校生の出品が減少しました。 入場者数は 1,017 人（約 21%減少）入場者数の減少については、高校生の出品が減少したことも一因と思われます。 平成 29 年度は入場者の増加を図るため、ポスターやチラシ等による広報を早い時期から実施し、館内外での催事で積極的に広報活動を行う。また、出品数の増加を図るため、美術展の出品に繋がる公民館講座等を開催します。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（%）	
	1,757,000			1,597,309		91.0	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	②Ⅰ ②Ⅱ	整理 番号	8	事業名	文化芸術振興経費	評価	A
【事業の概要】 市民の文化芸術活動の振興並びに文化芸術団体の育成を支援します。 瑞浪市文化協会が実施する各種文化振興事業に対し補助金を交付します。							
【事業の実績】 瑞浪市文化協会による、下記の3事業に対し補助金を交付しました。 ・文化協会祭開催事業 補助金額 100,000 円（総事業費 311,963 円） 6月11日、12日開催 ・文化交流振興事業 補助金額 89,000 円（総事業費 232,110 円） 11月 高浜市文化協会「文協祭」参加 2月 高浜市文化協会との意見交換会 ・顕彰事業 補助金額 202,000 円（総事業費 404,082 円） ○文化協会加盟：38 団体、521 人							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 文化協会祭においては、前年に引き続き、地区のお囃子保存会、中京高校吹奏楽部等の団体を招待したことによって、その関係者を含む多くの方に来場していただきました。							
【事業の成果と課題】 市文化協会は、市内に存する文化団体の包括団体として位置付けられており、文化協会祭の開催、愛知県高浜市との文化交流事業、会員の顕彰事業が主な事業となっています。最大の事業である文化協会祭には、地区のお囃子保存会や中京高校吹奏楽部などの招待団体を含む42団体が参加し、来場者数は参加者を含め1,078人（27年度727人）でした。 市における文化意識の醸成は、市民生活の満足度に大きな影響があると考えられるため、文化協会の活動に対し今後も支援を行うべきと考えますが、加入団体の増加策についても側面的支援が必要と考えます。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	624,000			594,250		95.3	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	②Ⅰ ②Ⅱ	整 理 番 号	9	事業名	中央公民館自主事業	評価	A
【事業の概要】 公民館の自主事業として公演事業を企画実施し、市民に芸術文化に触れる機会を提供します。平成 28 年度は、7 月と 9 月に音楽公演、11 月に映画上映を計画しています。 また、プロ、アマを問わず、地元で活躍している方や所縁のある方などを広く市民に紹介して行く事業として、ホワイエふれあいコンサートを開催します。							
【事業の実績】 7 月 3 日 なごみーず アコースティックナイト in 瑞浪 (622 人)〔収容可能数 762 人〕 9 月 11 日 結成 10 周年 高嶋ちさ子 12 人のヴァイオリニスト (778 人)〔収容可能数 786 人〕 2 月 26 日 映画「鳥の道を越えて」上映とかつてのカスミ網猟を考える「座談会」 (431 人)〔収容可能数 610 人〕 ホワイエふれあいコンサート 5 月 22 日 花いっぱいコンサート（市民合唱団）150 人 6 月 26 日 朗読発表会（市内 8 団体）150 人 12 月 11 日 クリスマスコンサート（市民交響楽団、M J C）630 人							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 市民アンケートを実施することにより、市民ニーズを把握し、事業選定の参考としました。ホワイエふれあいコンサートは、公民館等で活動している団体の大きな発表の場であるとともに、市民からの期待も高いことから、継続的に開催することができました。							
【事業の成果と課題】 自主事業、ホワイエコンサート等の機会に開催事業について市民アンケートをとり、要望の多い公演を実施しているが、多様なニーズがあり、その選定には苦慮することが多いです。平成 28 年度においては、2 回の舞台公演と 1 回の映画上映会を行い、それぞれ高い集客率を得ることができました。また、映画上映については、座談会を同時に開催し、地域の文化を再確認する学習機会とすることもできました。 ホワイエふれあいコンサートは 3 回実施しました。距離の近さ等から親近感のあるコンサートとなっています。今後も市民の文化意識の醸成につながる事業を心掛けます。							
決算の状況		予算額（円）		決算額（円）		執行率（％）	
		10,182,000		9,943,978		97.7	

方針と重点 の重点番号	②Ⅰ ②Ⅱ	整理 番号	10	事業名	中央公民館市民参加型事業	評価	A
【事業の概要】 市民が自ら参加し、芸術創造の場に触れることのできる事業を企画し開催します。 平成 28 年度のニューイヤーコンサートは、これまでのノウハウと参加者や関係者とのつながり等を生かしながら、新たな市民参加型事業を企画、実施します。							
【事業の実績】 1 月 22 日（日）に『みずなみニューイヤーコンサート 2017 オリジナル音楽劇 HELLO, IT'S ME』を開催しました。（681 人）〔収容可能数 708 人〕 参加者は、公募合唱団 45 人、公募劇団員 29 人の他、演出家・指導者など。また、衣裳ボランティア、スタッフボランティア 3 人の協力もありました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 今年度もプロの脚本家、演出家等と一般市民が力を合わせて舞台を作り上げることができ、質の高い舞台を提供することができました。							
【事業の成果と課題】 10 年以上継続して実施してきたことにより、すでに恒例催事として地域に定着したニューイヤーコンサートですが、今年度は創作劇に各種の名曲を織り込み、プロの脚本家・演出家等と一般市民がともに舞台を作り上げたことで、音楽劇としてのニューイヤーコンサートという新しいあり方を提案することができました。 入場者数は昨年度と比較すると減少（▲88 人）したものの、ほぼ満席となり、市内外から多くの方々にご来場いただきました。 公演後のアンケートには賞賛の声や次年度への期待、再演の意見が多く見られ、これまでと同様の高い評価を受けていることが確認できました。 参加した演劇、合唱、演奏、演出、運営スタッフ等の方々が力を結集させて創り上げた舞台となり、完成度や市民の満足度は高いものとなりました。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	4,223,000			4,202,522		99.6	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

◇スポーツ文化課（文化振興）の事業評価

方 針	歴史・文化に親しみ郷土愛を育む
重 点	I まちぐるみで守る文化財とその活用 II 歴史・文化・芸術に親しむ機会の提供 III 文化施設の充実 IV 伝統文化後継者育成

方針と重点 の重点番号	I	整 理 番 号	1	事業名	文化財調査保存事業	評価	A
【事業の概要】 市内に残る貴重な文化財の価値等を確認し、保護・啓発等を図るために調査を実施します。 平成 28 年度は、平成 26・27 年度に続き、櫻堂薬師及び関連寺社等の文化財（工芸品等）調査を実施します。							
【事業の実績】 櫻堂薬師調査指導委員である上川教授（愛知県立大学）の協力を得て、古文書調査（愛知県史等の自治体史に掲載された古文書の確認）を実施しました（6 文献、116 文書で櫻堂等の記載を確認）。 外部有識者の協力を得て櫻堂薬師周辺及び市内の主要な石造物 575 点の調査（実測）を実施しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画通り終了しました。							
【事業の成果と課題】 文化庁等との協議により、当初から計画を変更して古文書・石造物の調査を実施しました。これらの調査により、櫻堂薬師が鎌倉時代から室町時代前半にかけて発展し、広く知られるようになったこと、また室町時代後半（戦国時代）に衰退したことが明らかとなり、発掘調査では分からない変遷を確認することができました。 今後の調査対象や内容の方針については、櫻堂薬師調査指導懇談会において協議し、決定します。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	707,000			655,521		92.8％	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	I	整 理 番 号	2	事業名	埋蔵文化財発掘等調査事業	評価	A
【事業の概要】 開発行為が遺跡に与える影響・対応等を判断するため、遺跡内での開発行為に伴い試掘調査等を実施します。また、調査の必要性が認められる遺跡の発掘調査（保存目的の調査）等を実施します。 平成 28 年度は遺跡内での開発行為に伴う試掘調査を実施するとともに、桜堂遺跡出土品の整理等を実施し、調査報告書を刊行します（国庫補助事業）。							
【事業の実績】 試掘調査を 5 件（益見遺跡・釜戸宿遺跡・高屋遺跡・和合遺跡・兵庫田遺跡）実施しました。 桜堂遺跡の出土品実測・図面作成等を行い、発掘調査報告書を刊行しました（300 冊）。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画通り終了しました。							
【事業の成果と課題】 試掘調査については、遺構の有無や深度等を確認できたことで、その後の円滑な対応が可能となりました。 桜堂遺跡については、桜堂薬師（瑞櫻山法明寺）の創建が平安時代中頃の 10 世紀までさかのぼり、平安時代末期頃から大きく発展したこと等が明らかとなりました。 発掘調査報告書の刊行によりこれらの調査成果が公表され、文化財的な価値付けが可能となったため、今後は地域住民や地権者、また文化庁等との協議を進めて国の史跡指定を目指します。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	3,100,000			2,915,554		94.1％	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	I	整理 番号	3	事業名	保存資料等刊行事業	評価	A
【事業の概要】 市内各所（コミュニティセンター）で保管している文献資料や記録等を収集・整理して適切な管理を行います。							
【事業の実績】 各コミュニティセンターから収集した文献資料約 4,000 点、また個人から寄贈を受けた資料約 1,000 点を対象として整理（年代確認・目録作成等）を行い、3,000 点程度の整理が完了しました。 また、依頼に応じて吉備神社の棟札の調査（判読・記録作成）を行いました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画通り終了しました。							
【事業の成果と課題】 収集した資料は江戸時代から大正・昭和（戦前）にかけてのもので、釜戸村の領主であった馬場氏の文書も含まれていること等が確認され、多くの資料が保存を要するものであると判断されました。 今後も整理作業とともに資料の収集についても継続して実施し、収集成果を公開するためにマスコミへの発表や展覧会開催等を検討します。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	1,331,000			1,324,003		99.5%	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	4	事業名	こいのぼり祭事業	評価	A
【事業の概要】 文化施設（4施設）の周知を図るため、市民公園においてイベントを開催して集客に努めるとともに、文化施設を無料開放して歴史・文化・芸術に親しむ機会を提供します。							
【事業の実績】 4月22日～5月10日にかけて、公園内にこいのぼり約160匹を掲揚しました。 5月3日～5月5日に「瑞浪市民公園こいのぼり祭2016」を開催し、約7,000人の来場者があり、また文化施設を無料開放し、延べ14,800人を超える入館者がありました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 課題として、開催に当たって地域との連携を図ることを挙げました。みどり幼稚園と明世地区まちづくり推進協議会と連携し、オープニングイベントの風船飛ばしの規模を拡大して実施し、オープニングに花を添えることが出来ました。							
【事業の成果と課題】 例年通りこいのぼり祭では、瑞陵ジュニアブラスの演奏、明世地区まちづくり推進協議会・みどり幼稚園に協力を依頼してオープニングイベント「願いを込めた風船飛ばし」を実施して地域との連携に努めました。 天候に恵まれたことで文化施設への入場者も前年度から4,000人程増加し、イベントでは事故等も報告されませんでした。一部のキャラクターショーの際に駐車場が不足し、交通に支障をきたす事態が生じました。 今後は、イベント内容をより文化的・教育的な内容とするように努め、出演・出店者についても市内の団体等に声掛けする等、地域との一層の連携を図ります。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	2,400,000			2,384,448		99.4％	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	I	整理 番号	5	事業名	文化財維持管理事業	評価	A
【事業の概要】 指定文化財の保護を図り、また過去に設置した構造物（看板等）の安全性・利便性等を確保します。 平成 28 年度は岐阜県指定文化財である「半原人形浄瑠璃の頭と衣装」の修復事業、また瑞浪指定民俗文化財（無形）の伝承事業に対して補助金を交付します。							
【事業の実績】 「半原人形浄瑠璃の頭と衣装」の修復事業では頭 4 点、衣装 1 点の修復がなされ、640 千円の補助金を交付しました（県補助金は 1,280 千円）。 瑞浪指定民俗文化財（無形）の伝承事業については 3 団体に対して補助金を交付しました（1 団体につき 50 千円）。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 新規事業のため、特にありません。							
【事業の成果と課題】 文化財の修復は専門的知識・技術を要する業者等に委託して実施することが一般的ですが、高額な費用を要する事例も多くあります。所有者の経済的負担を軽減し、貴重な文化財を適切に修理して後世に伝えるため、今後も修理事業等への補助を継続します。 また、無形の民俗文化財の伝承を担う保存団体は、自己資金の確保に努力していることから、後継者育成事業についても補助を継続します。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	2,070,000			2,070,000		100.0%	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅲ	整 理 番 号	6	事業名	(化石博物館) 定期研究報告発行事業	評価	A
【事業の概要】 化石や地質等の研究論文を掲載した研究報告を発行して関連分野の研究に貢献します。また、国内外の関連研究機関（国内 194、外国 105 機関）との図書交換を行い、図書資料の充実を図ります。 平成 28 年度は、研究報告第 43 号（350 部）を刊行します。							
【事業の実績】 研究報告第 43 号（320 部）を発行し、国内外の関係機関に交換雑誌として配布しました。また、ホームページに電子版（PDF データ）を掲載（無料公開）しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 前年度から、巻頭に掲載論文の要旨を掲載、またホームページにも掲載しており、特に改善すべき点はありません。							
【事業の成果と課題】 関係機関へのアンケートの実施、ホームページへの電子版掲載により、当初計画よりも印刷部数を減じて刊行しました。 昨年度に引き続き、巻頭に掲載論文の要旨を掲載して研究者以外にも分かり易い内容となるように努め、ホームページに電子版を掲載したことで事業効果を高められたと考えます。今後もこの方針を継続します。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	779,000			776,284		99.7%	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	7	事業名	(化石博物館) 定期講座開催経費	評価	A
【事業の概要】 化石や地質・自然をテーマとした講座等を開催し、自然科学に対する知識の向上を図るとともに興味と関心を高めます。 平成 28 年度は、職員及びボランティアによるみずなみ化石教室、職員と外部講師による夏の化石教室（1 種）、ワークショップ（4 種）を延べ 28 回程度開催します。							
【事業の実績】 ・みずなみ化石教室（21 回開催） 半日コース 301 人（4 月 23 日～3 月 19 日、11 回：定員各 30 人） 一日コース 221 人（4 月 23 日～11 月 13 日、7 回：定員各 30 人） 上級コース 17 人（10 月 29 日・30 日、2 回：定員各 30 人） ・夏の化石教室 101 人（7 月 28 日・29 日、8 月 20 日・21 日、4 回：定員各 25 人） ・ワークショップ（7 回開催） コハクの原石を磨こう 48 人（10 月 23 日、11 月 27 日、2 回：定員各 25 人） 恐竜の復元模型を作ろう 45 人（5 月 29 日、8 月 7 日、4 回（1 日 2 回）：定員 15～20 人） 小さな化石モンスターを探せ 16 人（11 月 20 日、定員 20 人） ・（仮称）瑞浪北中学校造成工事現場見学会 72 人（11 月 26 日、定員 90 人）							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 みずなみ化石教室の開催に当たっては、参加者の安全性確保等のために、定員を 50 名から 30 名に減らしました。また、参加者アンケートの結果を踏まえ、上級者向けのコースを新たに開催しました。							
【事業の成果と課題】 みずなみ化石教室、夏の化石教室等を延べ 33 回開催しました。 みずなみ化石教室は参加者の安全等を考慮して半日コース、一日コースとも 30 人の定員を設けて実施しました（半日コースは定員 50 人から 30 人としました）。そのため参加者数は 27 年度の 705 人から 539 人に減少しましたが、安全確保が図られ、質の高いサービスが提供できたものと考えます。 また、当初計画していませんでしたが、11 月に（仮称）瑞浪北中学校造成工事現場見学会&化石採集体験を開催し、72 人の参加者がありました。また、昨年度製作した貸出・出前講座教材は、昨年度と同様に 1 校（瑞浪中学校）の出前講座で使用しました。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	952,000			868,525		91.3%	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	8	事業名	化石博物館定期展示会開催事業	評価	A
【事業の概要】 通常展示されていない館蔵資料の活用を図り、また自然科学に対する知識の向上に努めるために展覧会を開催します。 平成 28 年度は、特別展「ビカリアとみずなみの化石たち」と、企画展「私たちの一品」を開催します。							
【事業の実績】 特別展「ビカリアとみずなみの化石たち」 ・会 期 7 月 20 日（水）～9 月 25 日（日） ・入館者 7,496 人 企画展「私たちの一品」 ・会 期 11 月 3 日（木）～11 月 27 日（日） ・入館者 2,698 人 特集展示「みずなみ化石ニュース」 ・会 期 12 月 16 日（金）～4 月 2 日（日） ・入館者 4,079 人							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 前年度の特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画通り終了しました。また、速報性のある瑞浪北中学校の造成工事現場から見つかった化石を展示する特集展示も行いました。							
【事業の成果と課題】 例年 1 回としていた展覧会の回数を増やして開催したことでサービスの向上が図られました。特別展では館蔵標本を中心に展示したことで、館蔵品の活用が図られ、瑞浪の化石について認知を高めることができました。また、企画展では友の会と協力して瑞浪以外の化石や地質（鉱物）を広く紹介することができました。 特集展示は（仮称）瑞浪北中学校の造成工事で化石が確認されたことから、急きょ開催を決定したのですが、メディアにも取り上げられ、また最新の情報提供となったことから大変好評でした。 今後は、企画展等の周知を図るとともに化石に興味ある方々へ資料を提供するために、リーフレット等をホームページ上で公開していきたいと考えます。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	881,000			850,642		96.6％	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅲ	整理 番号	9	事業名	化石資料調査収集事業	評価	A
【事業の概要】 収蔵品の充実を図るとともに、展示・研究に活用するために化石標本等の現地調査・収集を行います。 平成 28 年度は、鹿児島県南種子町、北海道羽幌町において中生代～新生代の貝・十脚類（カニ等）化石の調査・収集を行います。							
【事業の実績】 北海道羽幌町（9 月 6 日～9 月 9 日） ・中生代・新生代の貝類・十脚類化石の調査・収集 鹿児島県鹿児島市（2 月 26 日～3 月 1 日） ・新生代の貝類・十脚類化石の調査・収集							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画通り終了しました。							
【事業の成果と課題】 羽幌町の調査では、イチョウガニやエビ類などの十脚類化石を採集することができました。この地域から初めて見つかった種類もあり、学術的価値が高いため、平成 29 年 6 月に開催される日本古生物学会で発表し、その後当館の研究報告で公表する予定です。 鹿児島県の調査は、新たな資料が発見される可能性の高い鹿児島市に調査地を変更しました。その結果、多くの種類の貝類や新種と思われるアナエビの仲間のスナモグリの化石を採集することができました。 採集した貝類化石については、瑞浪産の貝類化石との比較標本として展覧会で活用を図ります。また新種と思われるスナモグリについては、今後研究成果を論文として発表する予定です。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	313,000			294,780		94.2％	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	10	事業名	(市之瀬廣太記念美術館) 定期展示会開催事業	評価	A
【事業の概要】 美術や美術工芸品等への理解・関心を高めるため、郷土にゆかりのある芸術家や工芸作家等の作品を陳列する企画展を開催します。 平成 28 年度は、例年どおり 1 回の企画展を開催します。							
【事業の実績】 企画展「山」澤井竹次郎写真展」 ・会 期 10 月 15 日（土）～11 月 20 日（日） ・入館者 1,156 人							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 昨年度は候補作家との調整不足により実施を見送りましたが、本年度は早期に調整を行い、計画通り企画展を開催しました。							
【事業の成果と課題】 稲津町在住の山岳写真家、澤井竹次郎氏の写真展を開催し好評を得ました。 企画展等の周知を図るため、リーフレットをホームページ上で公開しましたが、今後も継続していきたいと考えます。 平成 29 年度は国際陶磁器フェスティバルの開催年でもあるため、協賛イベントとして企画展を開催し、効果的な広報と集客に努めたいと考えます。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	403,000			385,565		95.7％	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	11	事業名	(市之瀬廣太記念美術館) 彫刻講座等開催経費	評価	C
【事業の概要】 美術や工芸品に触れる機会を提供し、それらの知識と関心を高めるために各種講座を開催します。 平成 28 年度は、土人形づくり等の夏期講座（2 講座）を開催します。							
【事業の実績】 ・土人形づくり：4 人（7 月 25 日、8 月 27 日、9 月 4 日、延べ 3 日：定員 20 人） ・親子ブロンズ造形教室：中止（0 人：定員 10 人）							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 前年度の課題を踏まえ、広報に努めましたが、土人形づくりは大幅に定員を下回り、また、親子ブロンズ造形教室は中止となりました。							
【事業の成果と課題】 講師との協議により 2 講座の開催を決定して募集を行いましたが、ブロンズ造形教室は参加希望者が無かったため中止しました（3 月に減額補正）。 土人形づくり講座は今後も開催を継続しますが、彫刻は子ども・親子対象に加え、一般の方も参加できる内容を検討するとともに広報に努めます。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	59,000			58,140		98.6％	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	12	事業名	(陶磁資料館) 作陶講座開催経費	評価	A
【事業の概要】 伝統・地場産業である焼き物や陶芸等に触れる機会を提供し、また知識の向上を図るために体験教室を開催します。 平成 28 年度は、外部講師による作陶体験（6 回）と呈茶会（1 回）、内部講師による絵付け体験等（4 回）を開催するほか、事前予約制の絵付け体験（内部講師）の開催を継続します。							
【事業の実績】 ・作陶体験（外部講師、事前申込、定員 20 名） 五月人形づくり 17 人（4 月 3 日）、みんなの小皿づくり 6 人（9 月 11 日）、干支づくり 17 人（10 月 9 日）、市松雛づくり 17 人（1 月 12 日）、表札づくり 5 人（3 月 19 日） ・呈茶会（外部講師、当日参加） 陶の匠茶会 33 人（4 月 3 日） ・絵付け体験等（内部講師、事前申込、定員 20 人） 風鈴絵付け 12 人（7 月 3 日）、勾玉づくり 5 人（7 月 30 日・31 日） ・絵付け体験（内部講師、当日参加） マグカップ絵付け 68 人（5 月 3 日～5 日、8 月 13 日・14 日、11 月 13 日）、プチオカリナ絵付け 104 人（5 月 3 日～5 日、8 月 13 日・14 日） ・絵付け体験（内部講師、事前申込） プチオカリナ絵付け 53 人（8 月 9 日）、風鈴絵付け 2 人（8 月 9 日）							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 広報の充実及び出前講座の実施等を課題として掲げました。学校等への情報提供を充実させたこともあり、受講者数は大幅に増となり、出前講座や事前申込制の絵付け体験を実施することが出来ました。							
【事業の成果と課題】 作陶体験は講師の都合により 1 回を中止して 5 回を開催し、本年度から出前教室を開催しました。 作陶・絵付け体験等の総受講者数は、26 年度 231 人、27 年度 289 人、本年度 339 人（加藤孝造展のイベントを加えると 508 人）と増加しています。 近年は作陶よりも気軽に参加できる絵付け体験が好評なので、平成 29 年度も継続して開催するとともに、市の広報やホームページ等で情報提供に努めます。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	506,000			418,272		82.7％	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	13	事業名	(陶磁資料館) 定期展示会開催事業	評価	A
【事業の概要】 通常展示されていない館蔵資料の活用を図り、郷土の歴史・文化等に対する知識の向上を図るために展覧会を開催します。 平成 28 年度は 4 回（加藤孝造展を含めると 5 回）の展覧会を開催します。							
【事業の実績】 企画展 「瑞浪陶芸協会展 STORY」(4 月 3 日～5 月 5 日) 3,379 人 「キャンバスになった器たち」(5 月 28 日～6 月 26 日) 652 人 「伊藤鎗一 陶彩画展」(1 月 8 日～2 月 12 日) 433 人 「友の会 作品展」(2 月 19 日～3 月 19 日) 391 人							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画通り終了しました。							
【事業の成果と課題】 資料の寄贈があったことから企画展のうち 1 回は予定を変更して開催し、企画展の開催期間中の入館者は、特別展として開催した加藤孝造展を含め 6,405 人と、27 年度の 4,934 人から大幅に増加しました。 今後は、企画展等の周知を図るとともに、興味ある方々へ資料を提供するために、リーフレットをホームページ上で公開していきたいと考えます。 平成 29 年度は国際陶磁器フェスティバルの開催年でもあるため、加藤孝造展示室の展示入れ替えをかねた特別展を協賛イベントとして開催し、効果的な広報と集客に努めます。							
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）		執行率（％）		
	1,122,000		1,051,743		93.8%		

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅲ	整理 番号	14	事業名	(陶磁資料館) 定期刊行物発行経費	評価	A
【事業の概要】 調査・研究成果等を掲載した研究紀要（隔年）、瑞浪市の歴史・民俗・文化財等を紹介する歴史資料集（隔年）、館の事業報告・公開する年報（隔年）を刊行します。 平成 28 年度は、歴史資料集第 4 集（500 冊）を刊行します。							
【事業の実績】 歴史資料集 第 4 集（500 部）を刊行しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画通り終了しました。							
【事業の成果と課題】 歴史資料集には投稿のあった 1 論文を掲載し、国内の博物館や図書館等に送付したほか、一部を資料館で販売しています。 今後も研究紀要・歴史資料集の刊行は継続しますが、近年は投稿者が減少傾向にあることから他の学芸員や研究者等に投稿を働きかけていきます。また、一般の方にも掲載内容が一目で分かるように、掲載論文の要約掲載及びホームページ上での論文公開を検討します。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	497,000			407,984		82.1％	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅲ	整理 番号	15	事業名	(陶磁資料館) 展示資料等購入整理事業	評価	A
【事業の概要】 収蔵資料等を適切・効率的に管理・公開するため、データベースの充実を図り、市ホームページを通じて収蔵品を紹介します。また、金属製品の保存処理用を行うとともに新規資料（陶磁資料や図書等）を購入します。							
【事業の実績】 市内の古墳から出土した金属製品（1点）の保存処理を実施しました。また、参考図書（4冊）を購入しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 前年度の特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画通り終了しました。							
【事業の成果と課題】 金属製品の保存処理は計画通りに完了しました。今後、一定量の保存処理が完了した段階で、展覧会において展示するなど成果の公開・活用を検討します。 また、国登録有形民俗文化財に登録された陶磁器生産用具等のデータベース化・公開について検討します。 平成29年度は国際陶磁器フェスティバルの開催年でもあるため、加藤孝造展示室の展示品入れ替えをかねた特別展を協賛イベントとして開催し、効果的な広報と集客に努めます。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	500,000			456,902		91.4％	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅲ	整理 番号	16	事業名	陶磁資料館展示室改修事業	評価	A
【事業の概要】 国重要無形文化財保持者（人間国宝）、瑞浪市名誉市民である加藤孝造氏の作品の常設展示を行うため、展示室の改修工事を行います。また、工事完了後は寄贈作品等を公開するために特別展を開催するとともに、図録を刊行します。							
【事業の実績】 企画展示室の改修工事を行い、加藤孝造展示室として開設するとともに常設展示室内に企画展示コーナーを設置しました。また、展示用備品（小型免震台、独立型展示ケース等）を購入しました。 改修工事完了後には特別展の開催、図録（500冊）の刊行により展示作品を広く一般に公開し、さらに講演会・呈茶会を開催して作品等への理解・関心を高めることに努めました。 特別展「人間国宝 加藤孝造展」（11月3日～12月11日） 1,550人 記念講演会（11月6日） 80人 市民呈茶会（11月6日） 89人 展示室改修工事（備品含）23,120,853円、特別展開催経費1,612,740円							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 前年度の特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画通り終了し、本事業は完了しました。							
【事業の成果と課題】 工事・特別展開催・図録の刊行等は概ね計画通りに実施することができました。また、当初計画していませんでしたが、講演会・呈茶会を開催したことで加藤孝造氏やその作品についての理解や関心が高まったものと考えます。 今後は制作年代や作品種別等によりテーマを設定し、年に1～2回程度の展示替えを行い、作品の公開と広報に努めます。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	25,057,000			24,733,593		98.7％	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

◇スポーツ文化課（スポーツ推進）の事業評価

方 針	一人一スポーツの推進
重 点	I スポーツ環境の充実 II スポーツ体験の場の提供と情報発信 III スポーツ推進委員の活用 IV 体育協会・スポーツ少年団等との連携

方針と重点 の重点番号	II	整 理 番 号	17	事業名	スポーツ教室等開催経費	評価	B
【事業の概要】 市民が気軽に参加できるスポーツ環境づくりを図り、健康長寿につながる生涯スポーツの普及に努めるため、各種スポーツ教室を開催します。 弓道教室、バドミントン教室、フットサル教室、スナッグゴルフ教室、ノルディックウォーク教室を開催します。							
【事業の実績】 ・弓道教室（1 教室、参加 8 人：7 月 9 日～8 月 6 日（水・土曜日：9 回開催）） ・バドミントン教室（1 教室、参加 25 人：10 月 6 日～11 月 17 日（木曜日：6 回開催）） ・フットサル教室（1 教室、参加 10 人：11 月 18 日～12 月 9 日（金曜日：4 回開催）） ・スナッグゴルフ体験教室（1 教室、参加 15 人：9 月 3 日中止、11 月 23 日健康まつりに において 1 回開催） ・ノルディックウォーク教室 ※各地区において、スポーツ推進委員が実施したため、市として実施しませんでした。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 前年度の特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画通り終了しました。							
【事業の成果と課題】 本年度は、水泳教室が稲津総合型スポーツクラブの単独開催となり、教室が 1 減での実施となりました。 参加率の高い教室もありますが、10 年以上続けている教室もあり、現在の種目団体への委託実施という形態から、一定期間の実施後は、各競技団体の単独実施体制を促していく必要があります。 新たな種目における教室の開催については、種目団体に委託を受け入れる体制が整っていないなどの課題があります。							
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）		執行率（％）		
	278,000		208,750		75.1		

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	18	事業名	トップアスリート交流事業	評価	A
【事業の概要】 子どもたちとトップアスリートとの交流を図ることで、子どもたちに夢を与える事業として、スポーツ教室・講演等の交流事業を年1回開催します。 FC岐阜協賛事業として、サッカー教室を開催します。							
【事業の実績】 サッカー「ラモス瑠偉ふれあいサッカー教室」 8月3日（水） 約100名 【執行率が低い原因】 当初予算の中でトップアスリート派遣委託業務として計上していましたが、県事業を活用し実施したこと、当初、麗澤瑞浪中学・高等学校のグラウンドを借用する予定であったものを、市民野球場に変更したことから賃借料が不要となったためです。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 特筆すべき課題及び評価意見はなく、本年度の事業は計画通り終了しました。							
【事業の成果と課題】 当初、FC岐阜の現役選手にコーチをお願いする予定でしたが、FC岐阜と選手との契約の問題等もあり、日程的な条件を満たせず、代わりに県が実施していた「ラモス清流の国づくり夢プロジェクトラモス瑠偉ふれあいサッカー教室」を活用し、実施することとしました。 教室には、100名の募集に対し、107名の応募があり、県の好意もあり全員が参加することができました。 ラモス氏からは、サッカーの楽しさが一緒にプレーすることにより、参加者にも伝わり、初めてボールに触る子もいたが、非常に有意義な時間を過ごした、と聞いています。 種目の選定についても、長期計画を立ててトップアスリート（メダリスト等）の選定を行うこと、開催時期の調整を行うこと、及び市内スポーツ競技団体等との協力体制に留意すること等も課題として挙げられます。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	70,000			31,460		45.0	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	Ⅱ	整理 番号	19	事業名	全国レクリエーション大会開催事業	評価	A
【事業の概要】 9月23日から25日にかけて、第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜が開催され、 当市では9月22日に協賛行事として、グラウンドゴルフ大会を開催します。							
【事業の実績】 瑞浪市グラウンドゴルフ大会 9月22日（水） 100人申込 雨天により中止 後日、陶町の長寿会に依頼し、改めて大会を実施 10月26日（水） 会場 旧陶中学校グラウンド 参加人数 32人							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 新規事業のため、特にありません。							
【事業の成果と課題】 本大会が雨天により中止となったのち、改めて県より実施するよう依頼があったため、グラウンドゴルフを毎月行っている陶町の長寿会に依頼し、市のグラウンドゴルフ大会として実施しました。 本来は、各市のレクリエーション協会が実施することになっていますが、本市には協会がなく、主体となって実施する団体がないことから、市が主体となって実施したため、参加者の募集等に苦慮しました。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	389,000			387,758		99.7	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	I	整理 番号	20	事業名	市営野球場改修事業	評価	A
【事業の概要】 老朽化した市営野球場スコアボード点灯システムを更新します。							
【事業の実績】 平成 11 年度（平成 12 年 3 月）から使用していたシステムの OS（Windows 9 8）が老朽化したため、アプリケーションの更新及び機器のバージョンアップ（Windows7）を行いました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 新規事業のため、特にありません。							
【事業の成果と課題】 老朽化したアプリケーション（OS、パソコン含む）を新しいものに更新し、システムの延用が図れました。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	4,000,000			3,726,000		93.2	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

方針と重点 の重点番号	I	整理 番号	21	事業名	日吉スポーツ施設整備事業	評価	A
【事業の概要】 老朽化した日吉スポーツ施設グラウンド照明設備を更新します。							
【事業の実績】 事業費 27,411,480 円（うち工事費 27,379,080 円） 補助額 14,500,000 円（スポーツ振興くじ助成金（地域スポーツ施設整備助成）を活用） 老朽化した旧日吉中学校ナイター照明設備を更新し、新たに LED 照明 4 灯×4 基を設置しました。							
【前年度の評価を踏まえた取組み】 新規事業のため、特にありません。							
【事業の成果と課題】 老朽化した照明灯を更新したことにより、照度の向上（助成金の規定に合致）及び省エネルギー化を図ることができました。							
決算の状況	予算額（円）			決算額（円）		執行率（％）	
	28,000,000			27,411,480		97.9	

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

5 教育委員会点検評価委員会のまとめ

瑞浪市教育委員会事務事業に関する点検評価にあたっては、教育委員会が自らの事務事業を振り返り、自己評価を行うとともに、客観性や公平性を確保するため、教育に関する学識経験を有する6人の瑞浪市教育委員会点検評価委員が3回にわたり、教育委員会の6つの部署が所管する50事業について審査を行いました。

審査にあたっては、それぞれの部署の方針と重点を踏まえた上で、担当課による自己評価の結果について、事業評価シートに基づき、説明を受けました。

実際に参加したことのない事業を事業評価シートと担当課の説明により評価することには難しさも感じましたが、委員はそれぞれの知見を活かした質疑や意見発表を活発に行い、この点検評価をより公正で確かなものにすることができたと考えます。同時に委員にとっても、これまで知ることのなかった教育委員会の取組みについて詳しく知るよい機会となりました。

平成28年度に実施された事務事業に関しては、前年度実施した点検評価を土台として、適切に計画、実施されており、全体として一定の成果が得られたものと評価しています。一方で、各部署における自己点検や委員からの意見により、検討を必要とする課題や改善点も明らかになりました。また、「A」評価となった事業についても、常に点検評価を繰り返し、事業の充実に努めることが重要です。

人は生涯を通じて、学び続けます。市民がいきいきと学び、心豊かに暮らしていくために、この点検評価の結果を今後の教育委員会の取組みに反映していただくことを期待します。

【瑞浪市教育委員会点検評価委員】

※平成29年度委員会開催時

役職名	氏 名（敬称略）	備 考
委員長	あつみ まさのり 厚見 正紀	元瑞浪市教育振興基本計画策定委員会委員長
委 員	いとう かよこ 伊藤 加代子	元瑞浪市教育委員
委 員	もりもと ゆきまさ 森本 幸正	瑞浪市社会教育委員
委 員	あんどう りょういち 安藤 良一（※）	瑞陵中学校評議員
委 員	やまぐち みすず 山口 美鈴（※）	瑞浪市PTA連合会母親副委員長
委 員	さんこう のりかず 三戸 憲和	瑞浪市文化財審議会委員

任期は平成28年4月1日から30年3月31日。ただし、※印の委員は、前任者の退任による補欠委員につき、任期は前任者の残任期間（平成29年4月1日から平成30年3月31日）。

【点検評価委員会開催状況】

回	開 催 日	会 場
第1回	平成29年5月29日（月）	瑞浪市役所4階会議室
第2回	平成29年5月30日（火）	瑞浪市役所2階大会議室
第3回	平成29年6月20日（火）	瑞浪市役所4階会議室